

改革開放後の中国と新華僑

—変容する世界のチャイナタウン—

山下 清海

YAMASHITA Kiyomi

筑波大学 生命環境系 地球環境科学専攻

改革開放後、中国から新たに海外へ渡った新華僑の流入により、老華僑によって形成された世界各地の伝統的チャイナタウンは、大きく変容しつつある。また、新華僑の増加により、全く新しいチャイナタウンも形成されている。本発表では、中国および世界各地でフィールドワークを実施してきた報告者の体験にもとづき、中国の「僑郷」（華僑の故郷）および日本を含む世界各地のチャイナタウンの変容と現状について報告する。

■報告者

所属：筑波大学生命環境系 地球環境科学専攻（人文地理学分野）・教授

<http://www.geoenv.tsukuba.ac.jp/~yamakiyo/>

経歴：筑波大学大学院博士課程地球科学専攻地理学・水文学修了，理学博士。筑波大学地球科学系準研究員，秋田大学教育学部，東洋大学国際地域学部を経て，2004年より現職。

本講演に関する参考文献

山下清海（1987）『東南アジアのチャイナタウン』古今書院。

山下清海（1988）『シンガポールの華人社会』大明堂。

山下清海（2000）『チャイナタウン—世界に広がる華人ネットワーク—』丸善。

山下清海（2002）『東南アジア華人社会と中国僑郷—華人・チャイナタウンの人文地理学的考察—』古今書院。

山下清海編（2005）『華人社会がわかる本—中国から世界へ広がるネットワークの歴史，社会，文化—』明石書店。

山下清海編（2008）『エスニック・ワールド—世界と日本のエスニック社会』明石書店。

山下清海（2010）『池袋チャイナタウン—都内最大の中華街の実像に迫る—』洋泉社。

山下清海編（2011）『現代のエスニック社会を探る—理論からフィールドへ—』学文社。

山下清海編（2014）『改革開放後の中国僑郷—在日老華僑・新華僑の出身地の変容—』明石書店。

山下清海（2014）華人社会・チャイナタウン研究からみたフィールドワークの方法—体験から考える—。人文地理学研究，**34**，73-85。

YAMASHITA Kiyomi（2013）A Comparative study of Chinatowns around the world: Focusing on the increase in new Chinese immigrants and formation of new Chinatowns. *Japanese Journal of Human Geography*（人文地理），**65**（6），527-544。

■世界の華人人口の増加

1963年 1,268万人

1978年末～ 中国の改革開放政策 → 「新華僑」（中国新移民）の増加

日本，北アメリカ，ヨーロッパ，オセアニア

1985年 2,199万人

1997年 3,284万人（以上，Ma and Cartier eds. 2003）

2011年 約5,000万人（中国側の推定） → 南欧・東欧・南米・アフリカへも

※台湾，中華民国僑務委員会 2013年末 4,178万人

■老華僑と新華僑

老華僑

伝統的なオールドチャイナタウンを形成 ⇒観光地化

→郊外化=オールドチャイナタウンの衰退

新華僑

非富裕層→オールドチャイナタウンへ流入

ニューチャイナタウン（ダウンタウン型）の形成

⇒ホスト社会からの孤立，治安悪化

⇒衰退した地域の活性化

富裕層→郊外の住宅地

ニューチャイナタウン（サテライト型）⇒地価の高騰，住宅地景観の破壊

■僑郷

海外華人の出身地 「華僑の故郷」=僑郷

伝統的僑郷 →福建省・広東省・海南省

主要な出発港

福建省の厦門，広東省の広州，汕頭（スリ），香港，海南省の海口

■新華僑の僑郷としての福清

福清→貧困地域であったため，東南アジアや日本への出稼ぎ者が多い典型的な僑郷

陳平順 →1892年（明治25），福清から来日，長崎ちゃんぽんの考案者

四海楼 1899年（明治32）創業

■新華僑の僑郷としての浙江省温州近郊，青田県

青田県

在日華人の伝統的僑郷 →ヨーロッパの新華僑の送地域へ

「子供心に、何回か故郷に帰っていた父のことを覚えています。野球に明け暮れていたことと、父が日本語を得意にしていなかったからか、故郷のことを話している父の記憶が殆どありません。林三漁さんの名前も覚えがあります。父の友人としてよく家に来られていました。父の葬儀の時も、最後まで父に抱きついて泣かれていた姿が忘れられません。

父が亡くなって27年が経ちましたが、暑い胸板と、ご機嫌になると「伊豆の佐太郎」を歌っていた父の姿を思い返しております。」 2012.8.14 王 貞治

■在日新華僑の出身地としてのハルビン市方正県

ハルビン市中心部の東，約180km

方正県と日本

海外在留の華僑・華人 4.2万人→多くは日本在留

帰国華僑・親族 6.8万人

方正県の僑郷としての特色

- 1) 日本との密接な関係を活かした都市再開発 →日本からの投資を呼び込む都市再開発計画
中心市街地の店舗の看板に日本語併記

「創業創新科学発展，打造北国魅力僑郷」

- 2) 稲作の発展

日本の援助による高度な寒冷地稲作農法を導入→方正県は中国有数の水稲作地帯

→「方正大米」（中国国内のブランド米）

3) 日本人との国際結婚

1972年, 日中国交正常化

1981年~, 中国残留孤児の訪日肉親捜し

認定後→家族で日本に定住 方正県へ里帰り, 結婚相手を探す
日本渡航希望者の増加 (特に女性) →日本人男性と結婚

来日方正県出身者が同郷の女性を紹介

■ヨーロッパのチャイナタウン

ヨーロッパのチャイナタウンをみる視点

老華僑 →西欧中心 イギリス・オランダ (広東人中心)

フランス (浙江省温州人・青田人中心)

ヨーロッパの新華僑

新華僑の増加 →東欧・南欧への拡大, 「新天地」への新華僑の増加

ベルリンの壁崩壊 (1989年) →東欧の社会主義の崩壊

東欧 ハンガリー, ポーランド

南欧 イタリア, スペイン

イタリア, プラートの新華僑

プラート →縫製業の中心地

1990年代, 安価な労働力として新華僑が流入→新華僑の起業増加

→新華僑に対するホスト社会の反発

イタリア社会へ不適應, 不法入国, 「灰色経済」(脱税), マナー・治安の悪化

スペインの新華僑の増加

1990年代以降, スペイン経済の発展および不法移民への恩赦

→特に1990年代半ば以降, 新華僑の大量流入→飲食業, 中国製品の卸・小売業
バルセロナ→最大の新華僑集中地区

旧社会主義国の中国資本によるショッピングモール

■北アメリカのチャイナタウン

サンフランシスコ市のニューチャイナタウン

Sunset 区 Irving St. および Richmond 区 Clement St.のニューチャイナタウン (新華埠)

ロサンゼルス郊外のニューチャイナタウン

シカゴのチャイナタウン

カナダ・トロントのチャイナタウン

ダウンタウンのオールドチャイナタウンと郊外型ニューチャイナタウン

■池袋チャイナタウン

なぜ池袋チャイナタウンなのか

中国の改革開放→「中国新移民」(新華僑)の急増 →ニューチャイナタウンの形成

日本三大中華街(オールドチャイナタウン)→「老華僑」の「中華街」

池袋チャイナタウン →「新華僑」のチャイナタウン, 日本最初のニューチャイナタウン

地元商店街(ホスト社会)との不協和

池袋チャイナタウン関係年表

1991年	中国食品スーパー「知音」開店。
1991年5月	奥田道大・田嶋淳子編『池袋のアジア系外国人—社会学的実態報告』めこん
2002年7月	中国食品スーパー「陽光城」開店。
2003年8月	「池袋チャイナタウン」の呼称を山下清海が提案（「地理」第48巻第8号）。
2007年3月	「池袋チャイナタウン・ガイド」発行（山下清海・松村公明・杜国慶共同作成）
2007年5月16日	東京新聞（朝刊）「池袋チャイナタウン 熱烈歓迎」
2007年5月29日	TBSテレビ「イブニング・ファイブ」特集：池袋チャイナタウン 「池袋に激安チャイナタウン出現！ ギョーザ1キロ480円」
2007年11月5日	読売新聞（夕刊）「池袋に中華街 中国人の生活支援」
2007年12月下旬	中国製冷凍餃子中毒事件 →反中ムードの高まり
2007年11月	「東京中華街」準備委員会、発足
2008年2月6日	夕刊フジ「池袋中華の乱 地元商店会 vs 中国系飲食店」
2008年8月	北京オリンピック開催（8月8日～24日）
2008年8月28日	朝日新聞「池袋活性化へ『東京中華街』構想 地元商店会に反発も」
2008年11月26日	テレビ朝日「報道ステーション」特集：潜入 池袋の中国人社会 ～「中華街」構想に地元は反発～
2008年12月24日	テレビ朝日「スーパーJチャンネル」 特集：池袋チャイナタウン計画～都会で広がる中国人社会～
2009年2月15日	日経マガジン「探訪 池袋中華街」
2009年5月2日	NHKテレビ「おはよう日本」特集：中国人の生活を支える池袋
2009年9月	朝日新聞（東京版）「池袋 新華人が集う街」（連載9月21日～10月6日）
2010年3月13日	産経新聞「まるで異国?! 定住化進む池袋チャイナタウン」
2010年9月7日	尖閣諸島中国漁船衝突事件 →反中ムードのさらなる高まり
2010年11月	山下清海著『池袋チャイナタウン—都内最大の中華街の実像に迫る—』洋泉社
2011年3月11日	東日本大震災 →池袋チャイナタウンの多数の中国料理店のコック、従業員が帰国。
2012年9月11日	尖閣諸島国有化 →中国各地で反日デモ
2012年10月17日	NHK総合テレビ「探検バクモン」（ニイハオ！池袋リアルチャイナ）
2013年11月	『おさんぽマップ 東京エスニックタウン』実業之日本社 （中国人のエスニックタウンとして池袋チャイナタウンを紹介）
2014年10月22日	TBSテレビ「Nスタ ニューズアイ」 特集「池袋ディープ中華街」

(山下清海作成)